

自民党会派を代表して、市長はじめ市当局に代表質疑(令和6年9月20日)

神戸経済の成長を担う人材育成について

平野達司

① 生成AIを含むデジタル人材の育成

生成AIなどデジタル技術の飛躍的な進展などで、日々変化していく社会環境にも迅速かつ柔軟に対応し、持続可能な神戸の実現に市長部局や教育委員会など横断的な連携はもちろん、企業や大学などの協力も得ながら、全市一丸となって取り組むことが必要として、神戸経済の成長を担う人材育成について質疑。

その中で、生成AIを含むデジタル人材の育成について質疑
そして企業のDX推進や生成AIなど新たな価値創出を担うデジタル人材を多く育成、輩出、そして、市内企業やスタートアップなど活躍の場をいかに創出するか

② 学生に人気がある情報通信系の企業の誘致

神戸には、大学、高校、高専、専門学校等が集積しているが就職を機に学生の多くが市外に転出している。多くの学生が志望する情報通信系企業の本数が市内に十分ないことも原因の1つ

人口減少対策や人材の定着・集積のためにも、情報通信系企業の誘致・集積にさらに力を入れるべきではないか

久元市長 Microsoft AI Co-Innovation Labの活用、全業種で必要となるデータサイエンスやAIなどを駆使できるデジタル人材の育成と定着が急務。スタートアップの創出などを進めたい

神戸市に情報通信系企業の集積が薄いのは、問題意識を持っていた昨年度、補助制度を活用し進出したIT企業は17社、平成27年度以降、86社が進出し、約900名分の雇用の場が創出。

若者に選ばれる企業に進出してもらえるよう、積極的に誘致する

平野達司 経済界、地元の大学、高専、専門学校を含めたデジタル人材育成については

今西副市長 データサイエンスやAI領域で高度デジタル人材が多いアメリカの西海岸の調査、政府AI戦略会議の座長も務めておられます東京大学大学院の松尾教授の研究室と連携し、神戸におけるデジタル人材の育成、共同開発の場の創出、スタートアップ支援策の新規施策の検討につなげる

平野達司 医療産業都市のAI人材に関わる人材や企業の集積・育成するスタートアップにも見える化していく必要があるのでは

今西副市長 ベンチャーキャピタルとの連携強化により AI 技術に係る人材や企業の集積・育成に重点的に取り組みデジタル人材が医療産業都市で活躍できるような場も創設していく

平野達司 デジタル人材を育てていくためには教育が必要。加賀市では、STEAM 教育を推進している。未来のデジタル人材の育成については

福本教育長 教育委員会としては、企業や大学と連携して多くの取組を計画的に支援できるような体制を整備する

平野達司 自ら考える力、発想する力を養っていただく教育に、授業の在り方、環境、教員とともに、積極的に取り組んでいただきたい
東京にヒト・モノ・カネの一極集中に対峙するため神戸独自色を出していく必要がある。

神戸に来ることにより学びの場がある。その人材が育成できる。神戸で仕事ができる、活躍の場がある。海外にも展開できるぐらいの能力が発揮、人材が育成される、好循環ができる土壌をつくるべきでは

久元市長 今日の平野議員の御質問を通じて、やはり DX のデジタル人材の育成、それから情報通信産業の誘致、振興、それから医療産業都市における取組、これは非常にそれぞれつながっている一貫したお考えを、今日、開陳していただけたというふうに思い、神戸市として、教育委員会とも連携をしながら、人材育成と中小企業の振興、さらには域外からの企業の誘致と、神戸医療産業都市のさらなる進化と相互に関連づけながら施策を進めていきたい



9月20日の代表質疑の様子

神戸医療産業都市の今後について

平野達司 産業化の促進、市民に対して具体的かつ十分な効果を還元することができるように施策を展開していくのか

今西副市長 神戸医療産業都市は、進出企業が360を超え、1万2,700人の雇用創出効果、そして、1,562億円の経済効果と69億円の税収効果を生み出しており、クラスターとしては一定の成果。

神戸が優位性を備える分野の再生細胞医療、遺伝子治療や医療機器開発、バイオものづくりなどに対する支援を重点的に展開する。今後の成長分野は、医療との親和性が高く、多様な分野・領域との融合・連携が期待されるAIやシミュレーション、ロボティクスなどに対し、事業化や社会実装に向けた取組を積極的に展開し、人材や企業の集積と育成が活発に展開されることが重要。企業間のマッチングやサポート機能強化に取り組んでまいりたい。

中でも、スタートアップの支援につきましては、アクセラレーションプログラムの提供や海外展開支援、ベンチャーキャピタルとのネットワークの形成など、体系的、重層的に施策を展開し、神戸医療産業都市が市民に対して具体的な効果還元が得られるものへ、産業化の促進をはじめ将来像の報告書で描かれた姿の実現に向けて、全力で施策事業を展開する

平野達司 神戸空港の国際化に伴い、アジアの中でも成長著しいシンガポール、インドネシアにおいてバイオコミュニティの形成が活発な地域がある。その場所をターゲットとしたスタートアップ企業の海

外進出など重点的に取り組んでいただく必要があるのではないかと

今西副市長 大変重要な視点。神戸空港の国際化を契機に、アジア圏を中心としたライフサイエンスがより活発になる。

神戸医療産業都市にあるスタートアップが海外進出、特に有望なシンガポール、インドネシアも含めて大変有望な市場があり、進出促進、スタートアップが誘致できるように積極的に取り組む



医療産業都市



手術支援ロボットhinotori